

～JA福井県産大豆の単収アップを目指して！～

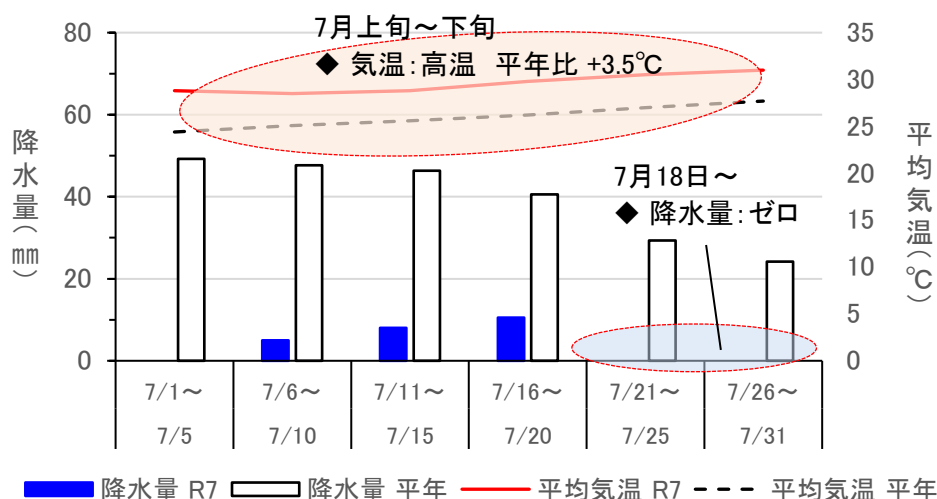
令和7年8月1日

JA福井県



7月18日の梅雨明け以降、降雨がほとんど無く高温・乾燥の日が続いています。積極的に畝間かん水を行い、高温・乾燥時期を乗り越えましょう。また、カメムシの発生も多く見られるため適期防除に努めましょう。猛暑が続いていますが、体調管理と大豆の栽培管理に努めましょう。

1. 気象と生育状況について

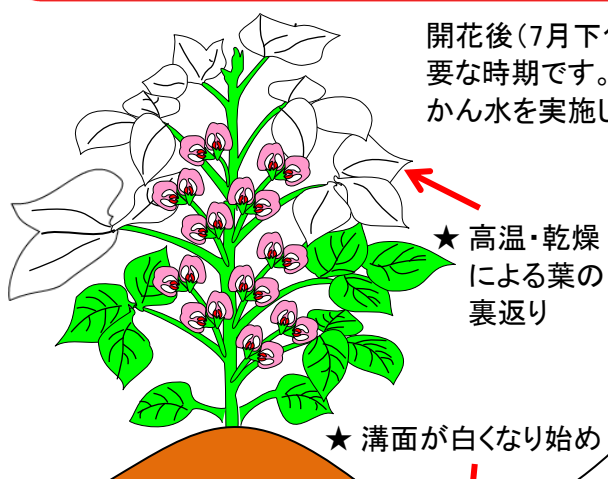


【気象庁の向こう1週間予報】

福井県内は、引き続き高気圧に覆われ、高温の日が多いと予測されています。



2. 畝間かん水(乾燥害対策)について



開花後(7月下旬～9月上旬)は着莢・莢伸長・子実肥大のために最も水分が必要な時期です。土壌水分を維持するために暗渠栓を閉じ、状況に応じた畝間かん水を実施し、落花・落莢の軽減を図りましょう。

畝間かん水の目安

- 無降雨期間が7日以上続き、溝面が白くなり始めたら開始。
- 葉が裏返る前に開始。

畝間かん水のポイント

- 短時間で圃場に入水し速やかに排水する。速やかに排水しなかった場合は、逆に湿害を招き減収となる。
- 排水溝・暗渠の栓の開閉。
畝間かん水時は閉める→畝間かん水後は開けて排水→排水後は土壌水分を保つため栓を閉める。

3. 病害虫防除について

莢伸長期(8月中旬)から子実肥大期以降(8月下旬)にかけては、紫斑病の予防と害虫防除を行うため殺菌殺虫剤(混合剤)を散布する。また、防除薬剤が莢に充分付着するように丁寧に散布しましょう。

8月中旬：殺菌殺虫剤の散布

粉剤

トライトレボン粉剤DL
(収穫14日前、2回まで)

ヘリ

アミスターレボンSE
(収穫21日前、2回まで)

液剤

カスケード乳

(収穫7日前、2回まで)

アミスター20フロアブル

(収穫7日前、2回まで)

アミスターレボンSE

(収穫14日前、2回まで)